



# ち★ネット!

「顔の見える地域連携」を目指した多職種での情報交換と学びの会  
それが、地域医療ネットワークの会です!



## 平成21年11月27日 第8回 地域医療ネットワークの会 「ALSの在宅医療について」

### 10施設 52名の参加がありました

聖マリアンナ医科大学病院医師、地域開業医、居宅支援専門員、聖マリアンナ医科大学病院看護師、訪問看護師、クリニカルエンジニアなど、ALSの在宅療養に携わっている方を中心にご参加いただき、現在の課題とその対応策などを意見交換しました。



### <内容>

#### ●往診医の立場から

三輪診療所 在宅支援部

柳沢 俊之 医師

「ALSの在宅療養に携わって」

これまでご経験された在宅ALS患者7例を通して、円滑な在宅療養を継続するためには、今後の予測される状況なども含め、患者・家族が病気を理解するような医療者の係わりや、介護者のためのレスパイトの体制、患者・家族を支える人たちのネットワークが重要であるとお話いただきました。

#### ●全体ディスカッション

座長 訪問看護ステーション鶴川ひまわり所長

坂本 由恵 看護師

確定診断がついた際に、どのように患者・家族へ関わるか、今後の療養に関する意思決定をどのように支えるかなど、様々な意見が出ました。また、在宅療養を選択した患者に対し、介護保険サービスをどう利用していくか、家族の介護負担をどう軽減していくか、外国ではどうしているのかなど質問や意見交換がなされました。いろいろな立場からの意見が何え、非常に参考になる内容でした。

